

カトリック召命チームは、司祭、教区司祭、修道会司祭、修道者、助祭、信徒によって構成されています。

日本社会全般の高齢化や少子化の影響のもとに、教会の勢力も減少することが予想されます。しかしこれが21世紀を生きる日本教会の現実であり、私たちに与えられた課題です。

このような教会の現状の中で、このチームの主な目的は、キリスト者の種々の召命を日本教会全体で考えていく動き・波を起こすことにあります。

そのためには、司祭、修道者、信徒の召命の活性化のために日々祈り尽力されている方々と、情報を交換しながら、共に協力し合う体制を整えたいと考えています。

またキリスト者の種々の召命を困難にしている諸問題と共に考え、その解決の糸口を探りたいと思います。

そして近い将来、召命にまつわるこれらの種々の問題を、日本教会全体で共有し、考え、祈るためにシンポジウムを企画・開催できたらと考えています。

このカトリック召命チームのメンバーとして現在、2人の司教様と、また司祭、助祭、修道女、信徒の十数名で活動を行っています。

日本カトリック教会の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



<http://c-v-team.com>

「カトリック召命チーム」で検索してください。

■カトリック召命チームの最新活動情報、ガイドライン等については、ホームページをご覧下さい。
連載コラム等 召命に関する情報を発信しています。黙想会、召命に関する集い…等、情報をお知らせください。

募集

地方在住の方で、召命のために、このチームにご協力いただける方を募集しています。
ご自分の最寄りの召命に関する情報を、メールなどでお寄せ頂ければ幸いです。

連絡先

日本カトリック神学院 東京キャンパス
〒177-0052 東京都練馬区関町東2-7-10

大山 悟 神父

E-mail : msoyama@mtc.biglobe.ne.jp

printed 2012.03

Catholic vocation team



日本における司祭、修道者、信徒の
様々な召命活動の
活性化、連帯化を目指すグループです。

<http://c-v-team.com>

カトリック召命チームは、
池長潤大司教様および野村純一司教様のご指導の元に、
各教区、各修道会の召命担当者と連携しながら
日本における司祭、修道者、信徒の召命の活性化を目指すグループです。

ご挨拶

池長潤大司教



今回出発した「カトリック召命チーム」は、2007年にタイで行われたアジア司教協議会連盟(FABC)が組織した召命についての集まりに源泉があります。日本でも日本全体にわたる召命促進の動きを起こしてはどうかということで、この「カトリック召命チーム」が出来たのです。

現在チームメンバーは年齢的にも巾があり、経験の場も多岐にわたる人たちで構成されており、日本の教会の充実と発展のためによい貢献が出来るのではないかと期待しています。

このチームの目的は、各教区や諸修道会で行われている召命活動を尊重し、それらと協力しあいながら、日本教会における召命を活性化し、その波を大きくしていくことにあります。召命の機運を高めるために、教区や修道会が協力し合うことで、より大きな効果が得られるものと期待されます。そして召命の機運の高まりは、きっと多くの若者に、彼らが神に呼ばれていることを気づかせるでしょう。

また、「召命」ということは、司祭や修道者に呼ばれていることだけを意味するではありません。結婚生活も召命の一つです。神の呼びかけは、すべての信仰者に向けられており、神によってなされる、あらゆる職業や生き方への招きが「召命」なのです。

キリスト者は、自分の人生の歩みの中で、重大な決断をするとき、まず神が何を望んでおられるかを、神ご自身に問い合わせることは、とても大事です。一人ひとりは、自分というこの存在を神から与えられていますので、自分自身の行いも、自分の生涯のあり方も、神の望みにそって選ぶはずのものなのです。

この「カトリック召命チーム」は、神から示される、あらゆる道への招きを見極める、その手助けをするグループでもあります。

召命を生きる

野村純一司教



アジア司教協議会連盟(FABC)奉獻生活局が開催した召命の集いに参加した人たちが、日本においても召命を推進するシンポジウムの開催を提唱したことによって「カトリック召命チーム」は生まれました。召命について考えることはキリスト者にとって根本的な問題です。

信仰者の父と呼ばれるアブラハムは、神の呼びかけに応えて「生まれ故郷、父の家を離れて」旅立ちました。使徒たちはイエスの「わたしについて来なさい」との言葉に従ってイエスの後について行きました。このようにすべての人には、それぞれに神から呼ばれた人生があります。自分への神の呼びかけを聞き分けることが、キリスト者にとって信仰を生きることになります。神の呼びかけを真剣に聴くことを大切にする教会には、司祭・修道者への召命に応える人も増えるでしょう。

カトリック召命チームの活動内容

*イエズス会での厚意により、岐阜ホールにおいて、月に一度の定例会(第二土曜日)を行い、召命に関する種々の問題について意見交換を行っています。

*各教区、修道会の召命活動についての情報を集め、多くの皆さんに紹介しています。

*今後、教区や修道会の召命担当者との連携を深めて行きます。

司祭、修道者、そして信徒使徒職として生きること。それぞれの召命の道。

召命の道は様々です。
司祭、修道者、そして信徒使徒職を生きること・・・

教区司祭の道



教区司祭は、各教区に所属し、そこ司教への従順と独身の誓約を行い、生涯を通して、神と教会への奉仕のために献身します。教区司祭は、司教に託された教区内の人々の側に留まり、キリストの心を司祭自身の心としながら、小教区の信徒と共に靈的歩みを共にしていきます。

修道者の道



教会が歴史を通しておこる様々な必要に応じ、創立者が修道会を起させてきました。修道者は、それぞれの修道会のカリスマを生きようとして集まつた人々です。その中には、司祭、修道士、修道女がそれぞれの役割を果たしています。修道者は、それぞれの会で共同生活を営み、教会に対しては、清貧・貞潔・従順の三誓願を宣立し福音的勧告の生活を送る人たちです。

信徒使徒職の道



信徒の召命は、パン種のように社会の中に福音を広めることです。個人的に、地域、学校、職場など出来る範囲で自分たちの中におられるキリストを表す使命があります。司祭は、信徒が個人、家庭、団体を通し行う使徒職に協力し、共に教会の共通善に向けて秩序づけるよう配慮していかなければいけません。